

あざが



防災の誓い新たに一斉放水

1月14日(日)和東小学校で和東町消防団の令和6年初出式が行われました。

地域防災の要として活躍が期待されます。

令和5年12月定例会

決まったこと 補正予算・主な質疑 >>> P.2

条例改正他 >>> P.3

一般質問 4人が町政を問う >>> P.5

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.10

まちなぎ 京都和東荘料理長 渡邊さん >>> P.12

令和5年度
補正予算

長引く価格高騰対策として 生活応援商品券を配布

12月定例会で提案された補正予算では、一般会計・特別会計合わせて1億6,804万円を追加され、原案どおり可決しました。

○一般会計（主なもの）

- ・ 障害者自立支援給付事業 582万円
- ・ 価格高騰緊急支援給付（追加分）事業 4,256万円
- ・ 茶源郷和東生活応援商品券事業 2,020万円

○国民健康保険会計

- ・ 一般被保険者療養給付負担金等 3,620万円
- ・ 診療所医療材料 490万円

○簡易水道会計

- ・ システム改修委託（公営企業法適用） 50万円

○下水道会計

- ・ システム改修委託（公営企業法適用） 51万円

○介護保険会計

- ・ 居宅介護サービス給付事業等 2,040万円
- ・ 高額介護サービス事業 300万円

主な質疑

問 生活応援商品券等なるべく早く住民に届くように。手続きの遅れは住民サービスの低下を招く。

答 業務負担軽減の体制を取りたい。

問 学校給食の品数が少なくなつたと言われているが。

答 質・量とも落としていないとのことだが、その意見もあることは確か。真摯に受け止める。

問 燃油券はいつ住民に届くのか。準備はどこまでできているのか。

答 印刷発注済みで、1月中旬には届きたい。

問 国保の葬祭費の申請漏れはないのか。

答 死亡届提出時に案内し申請忘れがないようにしている。

条例の改正・制定

○個人番号利用条例

番号利用法等改正法の公布に伴うもの

○国保税条例

産前産後期間の所得割、均等割の減額

○手数料徴収条例

手数料標準に関する政令の改正に伴うもの

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例

5年12月分の期末手当支給率を0.1月分引き上げ、6月と12月の支給率を同じ率に改正

○職員の給与に関する条例

5年12月分の期末・勤勉手当をそれぞれ0・05月分引き上げ、若年層を重点に給料月額を平均1.1%引き上げ、6月と12月の期末・勤勉手当の支給率を一律に改正

簡易水道事業、下水道事業への公営企業会計導入に伴う条例制定

①簡易水道事業の設置等に関する条例

②簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例

③特定環境保全公共下水道事業の設置等に関する条例

④特定環境保全公共下水道事業の剰余金の処分等に関する条例

⑤簡易水道事業の設置等に関する条例及び和東町特定環境保全公共下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

その他

○訴えの提起について
放火により焼失した町営住宅第2中西団地5号室および3号室の原状回復費用の一部について損害賠償を求めるもの。



プールの再開を求める請願が提出されました

決議

ガザ地区での戦闘の即時停戦を求める決議

提出者 高山豊彦 議員

可決

《賛成者7人》
《反対者1人》

請願

第4回定例会（12月）に次のとおり請願が提出されました。②の請願は意見書として本会議2日目（21日）に提案されました。

① B & G 海洋センタープール再開および体育館の改修に関する請願

請願者 B & G の未来を考える会

紹介議員 山本達也 議員

不採択

《賛成者2人》
《反対者6人》

② 建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書の提出を求める請願

請願者 全京都建築労働組合相楽本部

紹介議員 岡田 勇 議員

岡本正意 議員

採択

《賛成者7人》
《反対者1人》

意見書

第4回定例会(12月)に次のとおり意見書が提出されました。①の意見書は所管大臣等に送付しました。
①建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

可決

《賛成者7人》
《反対者1人》

②政治資金をめぐる疑惑の徹底解明と再発防止を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者3人》
《反対者5人》

③負担増に反対し、介護保険制度の改善を求める意見書

提出者 岡本正意 議員

否決

《賛成者2人》
《反対者6人》

町有財産管理委員会委員の委嘱に同意

杉本 則行氏 (中) 中井 喜彦氏 (原山)
岸田 清一氏 (釜塚) 小西 正富氏 (湯船)
大西 峰夫氏 (杣田) 渡邊 弘雄氏 (白栖)
松田 伸一氏 (撰原)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

杉本 守氏 (再任)

各議員の賛否

令和5年 第4回定例会(12月)に提出された議案のうち賛否がわかれたもの

会議区分	議案名	審議結果	議員名									
			村山一彦	宗健司	山本達也	高山豊彦	井上武津男	岡本正意	畑武志	小西啓	岡田勇	吉田哲也
本	ガザ地区での戦闘の即時停戦を求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	-
本	建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書の提出を求める請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	-
本	B&G海洋センタープール再開および体育館の改修に関する請願	不採択	×	×	○	×	×	○	×	×	欠	-
本	和東町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	-
本	和東町簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	-
本	和東町特定環境保全公共下水道事業の設置等に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	-
本	和東町簡易水道事業の設置等に関する条例及び和東町特定環境保全公共下水道事業の設置等に関する条例の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	欠	-
本	建設アスベスト被害者の救済とアスベスト対策の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	-
本	政治資金をめぐる疑惑の徹底解明と再発防止を求める意見書	否決	○	×	○	×	×	○	×	×	欠	-
本	負担増に反対し、介護保険制度の改善を求める意見書	否決	×	×	○	×	×	○	×	×	欠	-

※会議区分の、本は本会議 ○は賛成 ×は反対 欠は欠席 -は採決に加わらない
吉田哲也議長は本議会の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

12月14日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①井上武津男議員（6ページ）

1. 町に観光課の必要性は
 - (1)観光に特化した考え方はあるか
 - (2)ガストロノミーツーリズムの考え方は
 - (3)サステイナブルツーリズムの考え方は
2. 林業家・農家減少で放置竹林・竹林および荒廃農地問題の解決は
3. 「美しい村連合」に加入し続ける方策は

③山本達也議員（8ページ）

1. 鷲峰山トンネル開通後、観光客を収容し外貨を稼ぐ施設の整備計画はあるか
2. B & G 海洋センターの改修と民間委託についてどう考えるか
3. 町の税収を大きく増やす取り組みは何か
4. 鷲峰山トンネル開通後の交通網の考えは
5. 相楽東部広域連合教育委員会の現在のメリットとデメリットは

②高山 豊彦議員（7ページ）

1. 鷲峰山トンネルからの沿道型サービスエリアの取組とは
2. ゴミの不法投棄対策は

④岡本正意議員（9ページ）

1. 公的住宅の整備を進め、定住の受け皿づくりを
2. バス料金値上げへの対応は
3. 本腰入れて物価高騰対策を

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録と和東町チャンネルでご確認ください。



町に観光課の必要性は

井上武津男 議員



お茶と観光が融合したまちづくりを目指している。

町長

問 観光に特化した考
え方はあるか。

答 町長

「飲む、お茶から見るお茶へ、そして食するお茶、体験するお茶」へと、五感を感じることをコンセプトに周遊観光の好環境の創出事業を展開していきたい。旅の在り方の変化により、アグリ観光、ヘルス観光、ビジネス観光へとつなげていきたい。



交流ステーション 和東の郷

問 ※1 ガストロノミー
ツーリズムの考え方は。

答 町長

令和元年度には、「茶源郷和東お茶料理コンテス

ト」を開催、令和3年度は、お茶や地元野菜を使用した「和東の幸レシピ集」の冊子を発行、本町ならではの食文化の普及に努めている。

問 ※2 サステイナブル
ツーリズムの考え方は。

答 町長

基幹産業のお茶が、観光資源や、なりわい景観資産として、「茶源郷和東」としての知名度の向上、さらに、令和元年7月1日付で和東町景観条例を施行するに至った。茶業景観の適切な保存と活用を図ることとした持続可能な観光振興を計画していきたい。

問 林業家・農家減少
で放置山林・竹林及び荒廃
農地問題の解決は。

答 町長

「森林経営管理制度」を利用し、放置森林の所有者の同意を得て、町が「経営管理権」を借り受け、林業事業者への橋渡しをしたり、町自らが管理をするというもの。また、荒廃農地

の抜本的な解決は、耕作者人口を増やす必要がある。そのため、令和6年度までに農地の担い手を示す「地域計画」、農地を一筆ずつ誰が担って行くかを示す「目標地図」を作成し一元的に管理する方針である。



耕作されなくなった茶畑

問 「美しい村連合」に
加入し続ける方策は。

答 町長

連合加盟することが目的でなく、引き続き美しい村として保全し、町の活性化に生かしていく事が重要である。



平成25年10月 連合に加盟

※1 ガストロノミーツーリズム：「その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・歴史などによって育まれた食を楽しむ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム」。地域の伝統や多様性をサポート。文化の発信、地方経済の発展、持続可能な観光の実現等にも資する。

※2 サステイナブルツーリズム：観光地の本来の姿を持続的に保つことができるように、観光地の開発やサービスのあり方を見定め旅行の設定を行うこと。地域の文化や自然環境に配慮し、本物を体験し味わうことなどを通し、観光地に住む住民と観光客とが相互に潤うことが重要との考えが生まれてきた。



じゅうぶざん

鷺峰山トンネルからの沿道型サービスエリアの取組とは

たかやま とよひこ
高山 豊彦 議員

町長

(仮称) オープンエアーミュージアム構 想による交流拠点の再構築。

問 沿道型サービスエリアのこれまでの取り組みと今後の計画は。

答 町長

平成17年度から取り組んでいる雇用促進協議会の成果として、和東茶カフェ開設以来、周辺に4軒の出店があった。今後は次のステージにステップアップするため、(仮称)オープンエアーミュージアム構想の具現化に取り組みたい。

答 地域力推進課長

鷺峰山トンネル開通を契機に、茶源郷和東として高付加価値を実現するための施策を講じ、新たな茶源郷和東の誕生に向け、関係機関と議論を重ねる。

問 交流ステーションや和東茶カフェの運営状況と今後の活用は。

答 町長

グリーンティ和東周辺施設を基盤として、更なる誘客を図っていきたい。

答 農村振興課長

和東茶カフェは民間事業者で運営され、現在会員数は43軒、今年度の売上は

約5500万円を見込んでいる。交流ステーションは和東の郷協議会で運営され、現在会員数は84名、今年度の売上は約1800万円を見込んでいる。

問 和東の郷には数名の方がおられるが雇用主は。

答 町長

管理運営を行うため地域おこし協力隊1名を配置、会計年度任用職員2名分の人件費(220万円)を町が負担している。

問 交流ステーションは協議会で運営と聞いているが、和東の郷協議会とどのような協議をしてきたのか。

答 町長

運営は団体に委託し、経費を3年間応援する中で、特産物の生産・販売と生産者間の交流や来訪者との都市間交流が目的で、最終的には和東茶カフェ同様の形にすることを伝えている。

問 和東の郷は会員が高齢者で運営に苦労されて

いる。何らかの支援や、運営についての再協議が必要では。

答 町長

和東の郷協議会の「自分たちが集い・交流し・これを育てていく」という設立趣旨を会員で話し合っていたとき、和東茶カフェ周辺を中心とした新たな再構築を行いたい。



よろずや茶太郎

問 買い物困難者への今後の対策は。

答 農村振興課長

商工会と連携し、「よろずや茶太郎」が町内を週2回運行。今後はより利用しやすい移動販売にするため商工会と検討したい。

問 鷺峰山トンネル開通後の犬打峠周辺や、本町

の入り口となる府道木津信楽線瓶原大橋までのゴミの不法投棄対策は。

答 農村振興課長

犬打峠周辺は不法投棄等が増加する前にパトロールをする予定。府道木津信楽線は山城南土木事務所に定期的にゴミ清掃の要望をしている。

問 不法投棄されたゴミ処理費用は誰が負担するのか。

答 農村振興課長

地権者の負担となる。

問 防犯カメラの設置は。

答 町長

個人のプライバシーの関係もあり難しい。警察も含め検討したい。

問 看板は設置できないか。

答 町長

啓発看板の設置は場所を見極めながら立てたい。また、観光など出入りされる方々のモラル向上の啓発活動も取り組みたい。

和東がこれからどのような町になるのか 町民に明確に示すべき

やまもと たつや
山本 達也 議員



町長

ソフト中心に進めハードが 追従してくる政策を今後考えていく

問 B&G海洋センターの改修と利用者を増やす取り組みで、改修は段階的にできる所から進める中で管理運営を民間委託し、老若



グリーンティ和東周辺

問 鷲峰山トンネル開通後に観光客を収容し外貨を稼ぐ施設等の具体的な計画など、近い将来「和東はこんな町になる」というイメージを描けるようなビジョンを町長自ら発することが必要では。
答 町長 グリーンティ和東周辺施設を基盤とし新たな交流の場を創出。民間ノウハウも活用して新たな計画を練り直し5年、6年かけて取り組む。団体受け入れ集会所は総合保健福祉施設の活用も考える。

問 町民の税金を大きく増やす具体的な取り組みで、企業誘致は町長が先頭に立ち企業に向きプレゼンするなど積極的な動きをしているか。また専門チームを作る等、ガバメントクラウドファンディングやふるさと納税額増加対策で前向きな資金調達を考えているのか。
答 町長 地元商工業者を軸に活性化を図り商工観光事業者の誘致も模索。京都府とも連

問 町の税収を大きく増やす具体的な取り組みで、企業誘致は町長が先頭に立ち企業に向きプレゼンするなど積極的な動きをしているか。また専門チームを作る等、ガバメントクラウドファンディングやふるさと納税額増加対策で前向きな資金調達を考えているのか。
答 町長 地元商工業者を軸に活性化を図り商工観光事業者の誘致も模索。京都府とも連

携し協議を進行中。ふるさと納税は現状低い額しかない。クラウドファンディングは和東町で求めたいものがあれば意見を聞いて進めていきたい。
答 町長 B&G財団から改修補助も期待できない中、来年度はアリーナ及び2階のトレーニングルームの照明のLED化を予算計上したい。以降の屋根の改修、プール施設設備などの大規模改修は財源の確保に努める。また管理運営の民間委託について指定管理での事業効果を研究し検討する。

問 新たな路線開拓、周遊するルート展開を模索。近隣市町村との協議に向けて取り組みたい。住民の協力を得た新たな公共交通はひとつの解決策になり得る。地域公共交通会議で地域の団体が運行を担う自家用有償旅客運送の導入検討を提案し合意。今現在、和東では免許保持者が高齢者を送迎する共助が成立している。ライドシェアに取り組みよりWazcarなど公共交通をどうするかが課題で、ライドシェアではなく地域

問 新たな路線開拓、周遊するルート展開を模索。近隣市町村との協議に向けて取り組みたい。住民の協力を得た新たな公共交通はひとつの解決策になり得る。地域公共交通会議で地域の団体が運行を担う自家用有償旅客運送の導入検討を提案し合意。今現在、和東では免許保持者が高齢者を送迎する共助が成立している。ライドシェアに取り組みよりWazcarなど公共交通をどうするかが課題で、ライドシェアではなく地域

携し協議を進行中。ふるさと納税は現状低い額しかない。クラウドファンディングは和東町で求めたいものがあれば意見を聞いて進めていきたい。
問 鷲峰山トンネル開通後の交通網について先を見据えた計画はあるのか。交通過疎地域こそライドシェアが有効だと考える。国家戦略特区として和東をライドシェア特区として申請できるのか。
答 町長 新たな路線開拓、周遊するルート展開を模索。近隣市町村との協議に向けて取り組みたい。住民の協力を得た新たな公共交通はひとつの解決策になり得る。地域公共交通会議で地域の団体が運行を担う自家用有償旅客運送の導入検討を提案し合意。今現在、和東では免許保持者が高齢者を送迎する共助が成立している。ライドシェアに取り組みよりWazcarなど公共交通をどうするかが課題で、ライドシェアではなく地域

問 教育委員会が連合である現在のメリットとデメリットについて、和東で特徴的なオリジナル教育環境を作る場合に今の枠組みが良いかどうか。今の時代、自身の力で生きていく教育は重要。世界に通じる価値観や語学力、歴史を習熟し和東の今後の町づくりを思考し議論する力、ITやプログラミング、起業・創業するためのスキルなどを身につける教育は、それを受けさせたい親がファミリーごと移住してくる事にも繋がる。高校も国際的に通用する大学入試資格「国際バカロレア資格」を取れる教育機関連致など連合で考えられるのか。
答 町長 メリットは他の市町村にできない多様な取り組みで学校連携、児童生徒間の協力、教員間の協働がある。連合の教育には効果があり、デメリットは特にないが意見を参考に考えたい。

問 教育委員会が連合である現在のメリットとデメリットについて、和東で特徴的なオリジナル教育環境を作る場合に今の枠組みが良いかどうか。今の時代、自身の力で生きていく教育は重要。世界に通じる価値観や語学力、歴史を習熟し和東の今後の町づくりを思考し議論する力、ITやプログラミング、起業・創業するためのスキルなどを身につける教育は、それを受けさせたい親がファミリーごと移住してくる事にも繋がる。高校も国際的に通用する大学入試資格「国際バカロレア資格」を取れる教育機関連致など連合で考えられるのか。
答 町長 メリットは他の市町村にできない多様な取り組みで学校連携、児童生徒間の協力、教員間の協働がある。連合の教育には効果があり、デメリットは特にないが意見を参考に考えたい。

携し協議を進行中。ふるさと納税は現状低い額しかない。クラウドファンディングは和東町で求めたいものがあれば意見を聞いて進めていきたい。
問 教育委員会が連合である現在のメリットとデメリットについて、和東で特徴的なオリジナル教育環境を作る場合に今の枠組みが良いかどうか。今の時代、自身の力で生きていく教育は重要。世界に通じる価値観や語学力、歴史を習熟し和東の今後の町づくりを思考し議論する力、ITやプログラミング、起業・創業するためのスキルなどを身につける教育は、それを受けさせたい親がファミリーごと移住してくる事にも繋がる。高校も国際的に通用する大学入試資格「国際バカロレア資格」を取れる教育機関連致など連合で考えられるのか。
答 町長 メリットは他の市町村にできない多様な取り組みで学校連携、児童生徒間の協力、教員間の協働がある。連合の教育には効果があり、デメリットは特にないが意見を参考に考えたい。



公的住宅の整備を進め、 定住の受け皿づくりを

おかもと しょうい
岡本 正意 議員

公的住宅整備は慎重に検討 空き家の利活用を進める

町長



東京都奥多摩町の町営若者住宅

問 トンネル開通に向け、住宅の整備、確保の考えは。

答 町長
空き家の放置問題の解消の観点からも空き家の利活用をすすめる。

問 若い世代、子育て世帯を対象に一定数の公的住宅が必要では。

答 町長
公営住宅整備はリスクがあり、トンネル開通後の動向も踏まえた検討が必要。

問 公的住宅整備を排せせず検討を。

答 町長
排除とは言っていない。

バス料金値上げへの対応は

問 2月からの値上げの説明は受けたのか。

答 地方創生担当課長
説明は受けている。

問 国の補助をうけ、町が赤字補填しているのに一律値上げは不適切。値上げ撤回を求めるべき。

答 地方創生担当課長
撤回を求めるのは困難。

問 値上げは路線維持に有益ではないと認めるか。

答 町長
経営上、必要であれば負担は必要。

問 負担軽減の取組みとして①値上げを利用者に転嫁しない対策を②敬老パスの実施を③高校生通学補助を全額補助に。

答 町長
①応分の負担をお願いします

る。

答 地方創生担当課長
②CICAを配布している③現在の制度を維持。

問 せめて通学定期の無償化の決断を。

答 町長
今は検討していない。

本腰入れて物価高騰対策を

問 12月補正での施策の内容は。

答 町長
国の交付金を財源に生活応援商品券、非課税世帯への7万円給付を予算計上。

問 それで十分との考えか。

答 町長
判断できない。町財源での対応は困難。

問 困難と言うが町葬には500万出せたではないか。せめて1〜3月の水道基本料金免除を検討し実施を。

答 町長
町葬は最低限の事をした。

水道料金維持は公約であり曲げられない。

問 1〜3月分の基本料金免除、基本水量を10㎡に戻す、下水道・汲取り料金軽減など水道料金軽減を。

答 町長
商品券で支援する。水道料金引き下げは困難。

問 4月からの介護保険料引き下げを。

答 福祉課長
鋭意努力したい。

問 小中学生の入学時負担の軽減、無償化を。

答 町長
就学援助制度で対応。町単独での支援拡充は考えていない。

問 入学時負担の無償化は十分可能であり検討を。

答 町長
総合的に判断する。

総務厚生常任委員会

**ふるさと納税は
昨年比1.7倍に**

畑井上・山本
小西・村山

12月4日、令和5年度事業の進捗状況について事務調査を行いました。

総務課

- ふるさと応援寄附金事業
クレジット決済導入で、納入しやすくなり、11月20日時点で、176件、232万8000円の寄附（昨年度比約1.7倍）
- 茶源郷乗合交通生活お届け事業（4月1日から実証運行開始）
11月20日現在で264人が登録し、2471人が利用（前回報告時より960人増）。
- 消防団運営事業
小型動力ポンプ付き積載軽自動車（令和5年7月入札）が3月初旬に納入予定。

税住民課

○町税の予算現額に対する

収納率（11月20日現在）は72・29%。

○価格高騰緊急支給付事業（1世帯当たり3万円を給付）
546世帯に支給決定（対象568世帯の約96%）。

福祉課

○小児インフルエンザ予防接種費用助成事業（対象：中学3年生まで）
小学生までは年度2回、中学生は年度1回まで全額助成。罹患低減を図られている。

委員からの意見や質問

問 ジェネリック医薬品の流通不足が懸念されている。診療所では賄えているのか。
答 風邪薬や感染症薬が不足しているが、確保はできている。

問 少子化が進んでいる。

子育て施策は先進的なので、積極的にアピールすべき。
答 若いお母さんから好評。さらなるPRに努める。

問 鷲峰山トンネル開通後を見据え公共交通施策は見直すのか。
答 沿線自治体と話をしながら対策をしたい。

問 人生100年時代、誰でも安心して過ごせることが求められている。認知症や犯罪等対策として木津信楽線沿線への防犯カメラの設置はどう考えるか。
答 行政として、人の動きをとらえることを目的とした設置は難しい。数区で空き巣対策などで設置されている。

問 ライドシェアを導入すべきではないか。
答 自助、共助、公助の中でWazCarの在り方を含め検討しないとけない。

問 町税の滞納処理方法は。
答 納期限後15日程度で督促を出す。同時に税機構に移管。期限内納付を強くPRする。

※このほか、簡易水道事業・下水道事業への地方公営企業法の適用について、担当課から導入の経過やその内容などについて説明を受けました。

連合審査会

「B&G海洋センター」ビル再開および体育館の改修に関する「請願」を審査する総務厚生常任委員会と産業常任委員会の連合審査会が12月15日に開かれました。紹介議員から500筆近い署名が出されていること、運営や財源、スタッフの確保などについて説明があつた。

だが、あると便利という発想だけではその後続く維持管理は無理。慎重に考えないと負の遺産になるなど、その見通しについて厳しい意見が相次ぎました。そして採決の結果、賛成少数のため「不採択とすべき」とされました。

※連合審査会：付託を受けた委員会が審査を行うにあたって、ある部分が他の委員会の所管事項と関連し、その委員会と連合して審査するのが効果的であり、より徹底するような場合、連合審査会を開くことができる。

一部事務組合議会報告

相楽広域行政組合議会

第2回定例会を、11月27日に開催した。相楽会館建替えに伴う整備や運営負担金割合の見直しについて一般質問があつた。

令和4年度一般会計・特別会計決算は、賛成者全員で認定。職員の給与等に関する条例や福祉センター相楽会館の管理に関する条例などの一部改正は、賛成者全員、補正予算は、賛成多数で可決した。

令和4年度一般会計決算
歳入2億5594万円
歳出2億5049万円



簡易水道・下水道に公営企業会計適用

水道会計に公営企業会計を適用
 12月1日の委員会では、来年度から簡易水道と下水道事業に適用される公営企業会計について説明を受け質疑を行いました。公営企業会計では企業の経済性發揮や独立採算が原則となると共に、公共の福祉を増進する運営も求められます。

委員からは、全住民的な物価高騰対策の内容、公営企業会計移行による料金軽減の可能性、事業を終息する雇用促進協議会の今後、イノシシやシカ対策の現状、檻設置の講習実施の有無、石寺橋工事による通行



2月中にお使いください

事業内容をチェック
 12月5日の委員会では、令和5年度事業の進捗について各課から報告をうけ質疑を行いました。



完成した祝橋を調査

開通直前の祝橋を調査
 午後の審議に入る前に、開通を控えた中地域の祝橋工事現場を調査し、完成した橋について説明をうけ、状況を確認しました。祝橋は12月10日に開通式が行われ、供用を開始しました。

止め周知、観光客向けの飲食店情報の更新や発信、和東茶カフェ裏の大型観光バス用駐車スペースが無い理由、相楽東部3町村のごみ処理の方向性、鷲峰山トンネル内の電波確保や安全対策、府道沿い歩道の防犯灯設置や草刈りの必要性、解体撤去した町営住宅の今後等の意見が出されました。

産業常任委員会

祝橋が完成、開通

再び地域をつなぐ

岡本
高山・宗
岡田・吉田

一部事務組合議会・広域連合議会報告

相楽中部消防組合議会

第2回定例会を、11月27日に開催した。
 藤木美能里氏の公平委員会委員再任に同意。令和4年度一般会計決算、新庁舎建設工事請負契約の締結、補正予算を賛成多数で可決、行政手続条例や職員の給与条例は賛成全員で可決した。
 令和4年度一般会計決算
 歳入19億1232万円
 歳出18億7547万円

山城病院組合議会

第2回定例会を、11月24日に開催した。一般質問では、2名の議員が、経営計画の進捗状況、看護師の待遇改善等について質問した。
 令和4年度病院事業会計決算、介護老人保健施設事業会計決算を賛成全員で認定。補正予算、条例改正に係る専決処分承認、人事院勧告による職員の給与条例改正、病院事業会計での債務負担行為の補正を賛成全員で可決。
 令和4年度病院事業会計決算
 歳入91億8077万円
 歳出87億8388万円
 令和4年度介護老人保健施設事業会計決算
 歳入4億6932万円
 歳出5億791万円

相楽東部広域連合議会

第3回定例会を12月8日に開催。一般質問では、学校給食の業者委託や体育館の空調設備、ごみ処理や教育の進むべき道、ごみ行政や中学3年生の受験対策等について質疑が行われた。
 令和4年度一般会計決算
 歳入8億6206万円
 歳出8億3096万円

決算は反対多数で不認定。4年度余剰金の処理や各小学校のネット環境改善のためのアクセスポイント増設等を計上した補正予算は賛成多数で可決。

まちの
“元気”を
訪ねて

“何よりもお客さんの「美味しい」を大切にしたい”

～京都和東荘 料理長 ^{わたなべしんじ} 渡邊真次さん～

昨年12月から京都和東荘の新料理長に就任された渡邊真次さんを訪ね、和東に来られたきっかけや料理へのこだわり、これからへの思いを聴きました。



Q 和東荘に来られたきっかけは？

A 以前は自営でレストランをしていました。その後は他社で料理主任を経て、退職するタイミングで和東

荘の募集を知り興味を持ちました。面接で和東荘の方針をうかがい、ここで自分の力を発揮したいと思ってお世話になることになりました。

Q 和東町の印象は？

A 街中より田舎が好きです。こちらに来るまでは和東を知りませんでした。初めは遠いなど感じましたが今は慣れました(笑)。

Q 料理の仕事を選ばれたきっかけは？

A 子どもの頃、「料理天国」という番組を見て影響をうけました。自分が作ったものが直接評価をうけることに魅力も。

Q 和東荘で仕事をされた印象は？

A 1人で調理していて負担も多いですが、気楽にマイペースで仕事ができています。ま

だ1カ月ですが、リピーターの方もあり有難いですね。

Q 食事の提供で気を付けていること、工夫していること

A 若い方、高齢の方などの年齢や、性別に合った調理やアレンジを心掛けています。「肉類やアルコールがダメ」など外国人の文化や宗教の違いにも出来るだけ対応しています。お茶に関係するメニューも揃えています。

Q 和東荘をこれからどうしていきたいですか？

A これまでの経験を生かして和東荘のお役に立てればと思います。施設内の照明や装飾など雰囲気づくりの工夫とともに、何よりお客さんが美味しいと喜んでいただけるのを大事にしたいし、ご意見を生かしていきたいですね。



(取材：岡本、畑)

第1回定例会は、3月上旬開催予定です。

編集後記

元日の夕刻、家族団らんのひと時、能登半島を突然襲った震度7強の揺れ。建物は倒壊し、津波で流失する家屋も。200人以上の方が犠牲となり、多くの方が避難生活を余儀なくされている。亡くなられた方に心からお悔やみ申し上げ、ご遺族をはじめ被災された方にお見舞い申し上げます。

この地震では地面の隆起等で道路が寸断され孤立集落が発生しました。地形などの条件が異なるとはいえ、本町も大規模地震や風水害により孤立する可能性があり他人ごとではありません。今年鷲峰山トンネルが開通します。孤立化を防ぐ力強いインフラです。

2050年までに人口が半数未満になる市町村に和東町が含まれています。まちづくりの基本は人。トンネルの向こうに明るい未来が待ち受けるかどうか。行政と議会は大きな責任を担っています。

(畑 武志)

広報編集委員会

- 委員長 高山 豊彦
- 副委員長 岡本 正意
- 委員 山本 達也
- 委員 畑 武志
- 委員 小西 啓

あづかい 議会だより

令和6年2月15日発行 / 京都府相楽郡和東町議会 / 編集：議会広報編集委員会 TEL.0774-78-3003 FAX.0774-78-2799